



| 第 10 回 東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム ～橋梁保全シンポジウムの 10 年の歩みとこれから～ | |
|--|---|
| 日 時 | 2019 年 1 月 30 日(水) 13:30～17:00 |
| 場 所 | 仙台国際センター 会議棟「白樺」 |
| 主 催 | (公社)土木学会東北支部 |
| 共 催 | 東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター、 国土交通省東北地方整備局、インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム、 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、 (一社)東北地域づくり協会 |
| 後 援 | (公社)日本技術士会東北本部、(公社)地盤工学会東北支部、 (公社)日本コンクリート工学会東北支部、 (公社)プレストレストコンクリート工学会、(一社)日本建設業連合会東北支部、 東北建設業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部、 (一社)日本橋梁建設協会東北事務所、(一社)東北測量設計協会、 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会、東北電力(株)、 東日本高速道路(株)東北支社、東日本旅客鉄道(株)仙台支社 |
| 参加者 | 約 300 名 (東北各県の自治体職員、土木・建設関連業者等) |
| 内 容 | 東北地方の各県で実施されているインフラ維持管理の産官学連携の取組み状況を 紹介し、インフラを的確に維持管理するための今後の方策等について、東北地 方としての連携の可能性等を視野に置きながら、それぞれの分野に精通している 各位から話題提供を頂いた。 東北大学 IMC からは、「SIP・地域実装チーム(東北)の取組み」と「橋梁保全シン ポジウムの 10 年の歩みとこれから」について講演した。 |
| 状況写真 |  <p>「SIP プロジェクトの成果と今後」 若原 敏裕氏 (SIP インフラ維持管理・更新・マネジ メント技術 サブプログラムディレクター)</p>  <p>「SIP・地域実装チーム(東北)の取組み」 久田 真氏 (東北大学インフラ・マネジメント研究 センター センター長)</p> |